

2015年 秋冬号 No.24 2015/2/1 発行

22名の支援者から寄せられた学資支援金を贈呈 ハーティン省 ヴァン・トゥリー中・高校、ソンチュン小・中学校、ティンロック中学校

ベトナム第1次学資支援金 支援者からの支援金を生徒へ直接手渡し

JIFAが、2014年9月から開始した学資支援は、家族環境や経済的理由によって就学が困難なベトナムの子どもたちへ、学資を支援する活動です。9月、ハーティン省を訪れたJIFA池田理事長ほか4名は、3校において、日本の22名の支援者の方から寄せられた支援金(1万円)をベトナム通貨(200万ドン)にして22名の生徒へ学資支援金を直接手渡しました。その後、子供たちから感謝の手紙も届けられ、すでに、日本の支援者の皆様との文通による交流がはじまっています。

ヴァン・トゥリー校

9月5日入学式に参列。中学1年生から高校1年生まで11人に学資支援金を贈呈しました。



ソンチュン小学校

小学2年生から中学1年生まで10名に贈呈200万ドン及び贈呈証を池田理事長から手渡し、困難な中で一所懸命勉強している子供たちを励ました。



ティンロック中学校

高校に進学したチュン君には自宅を訪問して贈呈(左下) 4月に訪問した時より4kg体重が増えて21kg、130cmになり、笑顔がみられるようになりました。高校進学の試験では数学の成績が抜きんでて良かったそうです。同行いただいたティンロック中学校の熱血先生のハー校長先生(右下)や周囲の温かい励ましのおかげで、父親を不慮の事故で失ったショックから立ち直って勉学に励む姿が印象的でした。



第2次学資支援者募集中!

本号(24号)の記事

- | | |
|------------------|---|
| ・ベトナム学資支援はじまる | 1 |
| ・浄水装置9号機贈呈 | 2 |
| ・浄水装置8号機設置校訪問 | 2 |
| ・日越スポーツ文化交流 | 3 |
| ・ベトナム中秋祭 | 4 |
| ・仙台セミナーでベトナム産品普及 | 4 |
| ・新理事就任(田倉貴弥理事) | 4 |
| ・新職員紹介(イエンさん) | 4 |



浄水装置9号機がヴァン・トゥリー校に 1500人に安全な飲料水を提供

9月5日、ヴァン・トゥリー中学校で浄水装置9号機の贈呈式を行われました。浄化された水は、小学校、幼稚園、中学校、診療所、村役場へ供給され、現在、1500人が利用しています。浄水装置は多くの支援者からJIFAに寄せられた資金で設置、建屋は学校が提供、村が費用の一部を負担しました。生徒の皆さんから感謝のお手紙を数多くいただきました。ズオン・ティ・ガン・ジャンさんの手紙を紹介しします。

私はヴァントゥリー中学校7Aクラスのスオン・ティ・ガン・ジャンと申します。この手紙を通じて私の感想を伝えさせていただきたいと思います。JIFAは非営利団体で、人間生活にとって様々な実用な支援活動を行っていると思います。無毒で、綺麗な水を得ようとすると多額のお金がかかると思いますが、貴協会と皆様のご支援のおかげで、私の学校で浄水機が設置されて、本当にありがとうございます。

ベトナムの水はほとんど汚染されています。国民は水を守る意識がまだありません。ごみは湖、川にいっぱいあり、水を汚染します。でも、あるベトナム県市では、県民が水を確保・節約しますよう呼び掛け、木を植え、ゴミを拾う等の様な活動を行っています。私の学校では水を節約し、適切に使っています。水は授業後私たちのストレスを和らげてくれます。毎朝、学生私たちはタンクから水を取ります。設置して下さった浄水機は私の学校だけでなく、幼稚園と小学校の学生も飲用出来ます。私たちは凄く安心して水を飲みます。私は確保し、水を大切に使います。

貴協会は今後も浄水計画を始め様々な困難な人を助けるプロジェクトを進められますようお祈り致します。

改めて、貴協会と皆様にお礼をお送りさせて頂きます。私は母国・故郷の益々繁栄と幸せのため、慈善活動がありますよう良く勉強します。

ズオン・ティ・ガン・ジャン



8号機設置グエンチータイン校 保護者や地域住民による嬉しい展開

ビエンホア市人民委員会へ9月3日にゾン人民委員会副委員長を訪問。浄水装置支援に関する合意書を締結することについて了承をいただき、教育訓練局副課長も同行して、グエンチータイン校を訪問。グエンチータイン校長とJIFAで合意書を締結しました。(右) 昨年2500人(4月)だった生徒数が2992人になったそうです。水の運搬に200万ドン/月の費用がかかることから、保護者の協力で4000万ドンで屋上タンクと各校舎毎に蛇口を設置したという嬉しい展開を伺いました。



ビエンホア市人民委員会を訪問



屋上にタンクを設置



各校舎に蛇口設置

10号機はフォーチャウ小中学校に

10号機は、生徒数863人、教師数63人のフォーチャウ小学校と隣接する中学校1500人を対象に250リットルタンクの装置を設置することになりました。2015年9月完成予定です。現在は地下5m程度の井戸の水源を利用していますが、深い井戸を掘って原水をとる予定です。この地域は台風による洪水が頻発し、洪水で150cmまで浸水することもあるため、対策を講じて設置することになりました。



日越スポーツ・文化交流会 10月29日

秋空のもと 東京・八広で開催161名が参加

秋の晴天に恵まれた10月29日、東京・墨田区でベトナムと日本のスポーツと文化を交流する交流会を、クラブディポルディーボエスペランサと共催で開催しました。開催にあたり、駐日ベトナム大使館、在日ベトナム青年学生協会（VYSA）、公益財団法人 国際労務管理財団（IPM）、東京労務管理協会、(株)PMCの後援もいただきました。

ベトナム大使館の職員のご家族や在京ベトナム人の方も数多くあつまり、JIFA会員や地域の皆さんとともに、フットサル、ヨガ、日越料理文化交流、健康づくり交流、音楽交流、プロヨブヨすくいなどをしながら楽しく過ごしました。

フットサルはエスペランサ指導員の指導のもと、小学生から大人まで楽しく汗を流していました。

料理文化交流では、子どもたちの保護者、大使館の皆さんとJIFA会員と一緒にベトナムの春巻き、フォー、日本のいろいろな食材を入れたおむすびや豚汁を作り、おいしい昼食となりました。

スポーツ講演会では、森浩一氏（川口市健康管理士会会長）から「健康管理について」、JIFA理事でもある三宅義信氏（ゴールドメダリストを育てる会理事長）から「子供と大人の身体・体力づくり」の講演、子供でも使える小さなバーベルを用いた実技指導もあり、子どもたち全員が実際にバーベルを持ち上げる体験を楽しみました。

音楽交流会には、ベトナム教育支援のため現地訪問された経験のある会員の松岡けいこさんと更井さおりさん、VYSAからお二人の歌手をお迎えしました。

松岡けいこさんは、ベトナムの唄「美しい昔」はじめ、浜千鳥、鶴、愛の讃歌を、グエン チュン デュク (Nguyễn Trung Đức) さんは、Nơi Ấy Con Tim Về (故郷への愛) と Ôi tuổi thơ (私の子どもの頃) を、レ ホアン アン (Lê Hoàng Anh) さんは、Giấc Mơ Trưa (昼の夢) と Tình em biển cả (私は海が好き) をベトナム語で唄ってくださいました。最後に、しあわせなら手をたたこう♪を皆で唄い、会場の多目的ホールは歌声に包まれました。



子どもの祭 中秋祭に参加

ベトナムでは新学期にあわせて、中秋祭が各地で開催されます。

入学式を済ませた村の生徒たちが集い、楽しむお祭りです。

将来の担い手である子どもを大事にする故ホーチミンの思いは現在も引き継がれ、貧しい家庭の子供たちを皆で励まそうとするベトナムの人々の心を実感しました。

真っ先に舞台上上がり励まされた、困難な状況の中で頑張っている子供たちは、会場の子供たちからも温かい拍手が贈られ、とてもうれしそうでした。

JIFAが推進する学資支援の運動と共通する、ベトナムの温かい国民性を感じました。



復興支援セミナー(仙台)

ベトナム教育支援のため物産普及

ベトナムと日本の経済交流と復興支援をテーマに、9月19日午後、駐日ベトナム社会主義共和国大使館、I.P.M.(公益財団法人国際労務管理財団)共催のセミナーが173名の参加のもと仙台市内で開催され、JIFAも協力しました。

会場で、スカーフ、トンボ、紙細工などのベトナム物産を販売し、ベトナム教育支援を応援していただきました。収益は浄水機設置などの費用に充てます。



新理事に田倉貴弥さんが就任

12月16日の社員総会にて新理事に田倉貴弥氏が選任されました。田倉氏は、「事業を通じて関係した方々全員を幸せに」をモットーに、観光バス業界に新風を巻き起こす平成エンタープライズの代表取締役でいらっしゃいます。

どんな時にも、熱いハートで、優しさを内に秘めて行動されます。常に研究心を持っておられて、たとえば、バスのお仕事に於いても、どのようにすれば、乗客のためになるのかご自身で体験されて、工夫をひとつひとつ重ねられて、実行され、より良い方向にどんどん進めておられます。業界ではだれも気付かなかった所などにも気を配り、第一人者となって、ユーザーのために日々努力されておられます。また、日本人の目線ではなく、外国人のために(結果的には日本人のためにもなるのですが!)日本的で、いろいろな方々とお話が自由に出来る広場のあるホテルをつくられたり、、、と次々と情熱をもって、挑戦されています。当JIFAにも熱き心でご協力頂けることと、期待しています。(池田理事長)

新しい仲間のご紹介

ホアン・ティ・ハイ・イエンさん



はじめまして。私はベトナムから参りましたホアン・イエンと申します。日本に来てから4年間になり、現在東京農業大学の国際バイオビジネス学科に在学しております。今年の3月20日に東京農業大学(学部)を卒業した後、引き続き大学院に入ります。

2014年9月に日本国際親善協会(JIFA)でアルバイトをやり始めました。

JIFAはベトナムの子供たちに安全な水を提供したり、困難な状況を持っている学生に学資支援金を贈呈したりする様々な支援活動を行っています。ですから、JIFAでアルバイトをやるたびに、母国であるベトナムに対して有意義な事をやっていると感じますので、本当に嬉しいです。今後、JIFAのベトナムでの支援活動の発展に貢献できるように、努力します。今後とも宜しくお願い致します。

浄水装置10号機支援寄付・
第2次学資支援者 募集中!
お友達にも是非ご紹介ください

特定非営利活動法人 日本国際親善協会 (JIFA)

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-26-6 新宿加藤ビル7階

TEL : 03-3352-3918 FAX : 03-3352-3962

Mail: info@jifa.org URL: http://www.jifa.org